



(資料 1 - 2)

「木材販売のための協同～ドイツの林業連合～」のポイント

(林政審議会施策部会 (令和元年12月2日) 森林総合研究所 堀コーディネーター説明資料)

令和2年1月
林野庁

日本とドイツの比較表

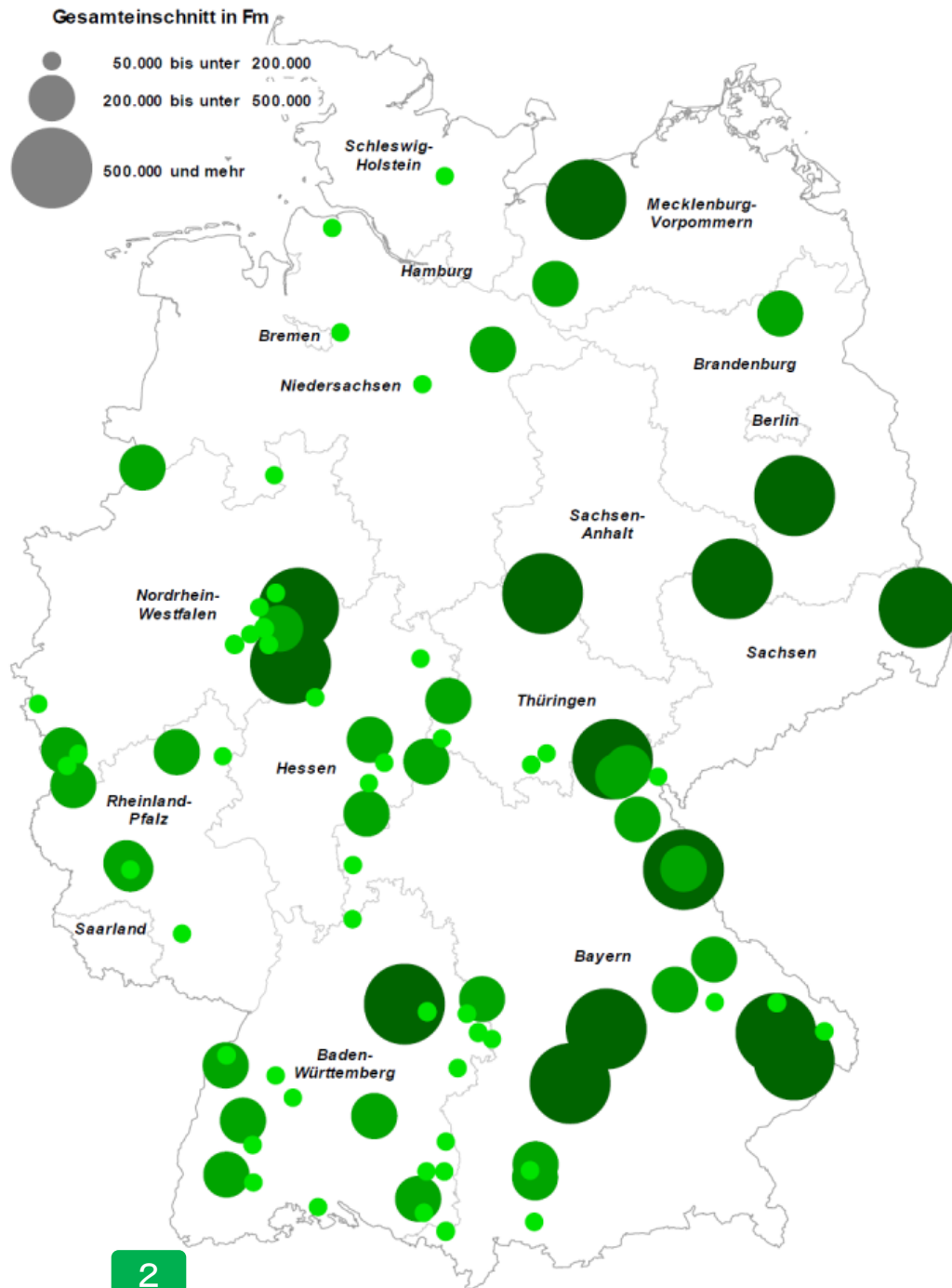
	 日本	 ドイツ
国土面積	3,779万ha	3,571万ha
人口	1億2,700万人(2016年)	8,177万人(2015年)
名目GDP	4兆8,724億米ドル(3位) (2017年)	3兆6,932億米ドル(4位) (2017年)
1人当たり名目GDP	3万8,220米ドル(32位) (2017年)	4万4,976米ドル(23位) (2017年)
農用地面積	456万ha	1,672万ha
森林面積	2,496万ha (人工林1,029万ha)	1,141万ha
森林蓄積量	49億 m^3 (人工林30億 m^3)	37億 m^3
木材伐採量	2,000万 m^3 前後 (2010年～現在)	5,000～6,000万 m^3 (2010年～現在)

注) 国土面積、農用地面積、森林面積のデータ(2011年)は、FAOSTATによる。日本の人工林面積と森林蓄積量は「森林・林業統計要覧2015」、ドイツの森林蓄積量は第3次連邦資源調査(BWI)による(BMEL2016*)。木材伐採量は日本については農林水産省「木材需給表」、ドイツについては連邦食料農業省(Bundesminister für Ernährung und Landwirtschaft: BMEL) Holzmarktbericht の各年度版による。名目GDPと1人当たり名目GDPは、www.globalnote.jpによる(2019年6月19日取得)。

*BMEL(2016)Ergebnisse der Bundeswaldinventur 2012. Druck und Verlagshaus Zarbock GmbH & Co. KG: 277pp.

ドイツの製材工場 の立地

(資料: 森林総研石崎涼子氏
より提供)



山側（供給側）の対応

2000年代に製材業の規模拡大が顕著
（丸太の消費量の規模は100万m³/年）
＝1工場当たりの取引量の拡大＝寡占化



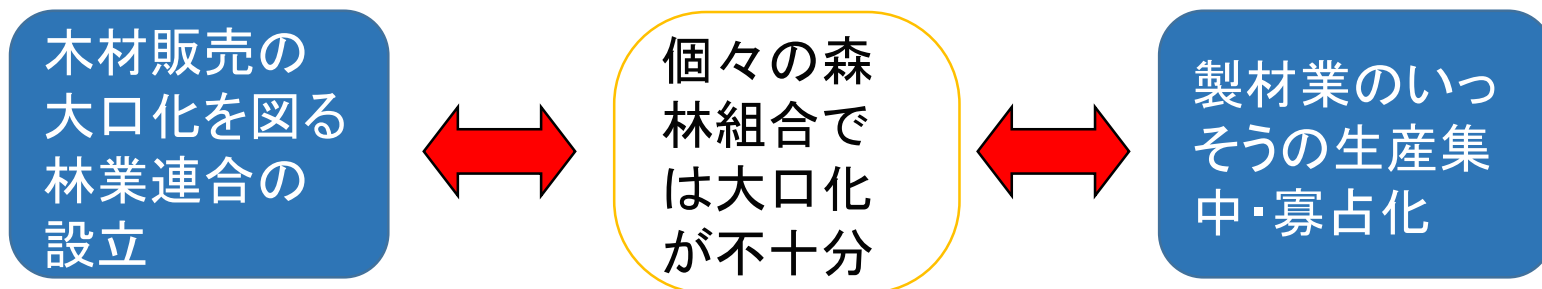
森林組合の規模（1組合当たりの木材生産量は1万～1万2千
m³）でも、製材業の規模から比べると小規模
⇒森林組合による組織化でも不十分



森林組合を組合員とする林業連合（日本の森林組合連合会
に相当）を新たに設立し、寡占化した巨大製材業に対応

まとめ

- 林業連合の設立は、製材業のいっそうの生産集中を示している



- 木材取引の大口化＝流通過程の協同化が
ドイツの林業での協同化の特徴

